



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月7日

東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社

上場取引所

コード番号 5660

URL <https://www.shinko-wire.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北山 修二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦 (TEL) 06-6411-1051

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	7,809	△6.2	4	△98.5	40	△88.4	166	△4.2
2025年3月期第1四半期	8,324	13.1	308	190.4	354	158.2	173	41.8

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 130百万円(27.2%) 2025年3月期第1四半期 102百万円(△35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	28.19	—
2025年3月期第1四半期	29.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	44,662	23,975	53.7
2025年3月期	44,081	24,022	54.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 23,975百万円 2025年3月期 24,022百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	10.00	—	35.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,370	2.5	50	△92.2	50	△92.7	170	△66.9	28.77
通期	36,600	6.7	950	△18.6	950	△23.1	800	△22.7	135.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) ファイベックス株式会社 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	5,912,999株	2025年3月期	5,912,999株
2026年3月期1Q	3,181株	2025年3月期	3,110株
2026年3月期1Q	5,909,857株	2025年3月期1Q	5,910,298株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当期における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されておりますが、米国の通商政策影響による景気の下振れリスクが高まっております。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっております。当社グループを取り巻く事業環境においても、中東地域をめぐる情勢等の地政学リスクの長期化、人件費を始めとした諸コストの上昇、米国の通商政策動向等、不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは、諸コストの上昇に対する販売価格改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めましたが、厳しい事業環境の継続による販売数量の減少や諸コストの上昇に加えて、当期は前年同期水準の在庫評価影響が発生しなかったこと等により、当期における当社グループの連結業績は、売上高は7,809百万円と前年同期に比べ515百万円の減収、営業利益、経常利益はそれぞれ4百万円（前年同期比304百万円の減益）、40百万円（前年同期比313百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は166百万円（前年同期比7百万円の減益）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（P C関連製品）主力分野の橋梁において、老朽化に伴う補修・補強案件が増加する一方で、P C鋼材の使用量が多い新設案件が減少する厳しい事業環境が継続し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

（ばね・特殊線関連製品）主力の自動車分野における販売数量は、中国での日系自動車メーカーの販売不振影響等により、前年同期に比べ減少しました。加えて、プリンター分野における販売数量も、一部プリンターメーカーの海外拠点における人手不足起因の生産調整影響等により、前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は4,547百万円と前年同期に比べ19百万円の減収となり、営業利益は25百万円（前年同期比166百万円の減益）となりました。

<鋼索関連事業>

各業界の人手不足や諸コストの上昇影響等により、需要が依然として低水準で推移していることに加えて、中国における不動産市場停滞の継続に伴う輸出案件の減少影響等により、販売数量は前年同期に比べ減少し、売上高は3,075百万円と前年同期に比べ260百万円の減収となり、営業利益は73百万円（前年同期比63百万円の減益）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

公共工事の発注減や工事・メンテナンス分野、建築分野における予算不足起因での施工遅れ影響等により、売上高は171百万円と前年同期に比べ235百万円の減収となり、営業損失は107百万円（前年同期は32百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ15百万円、12百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、580百万円増加の44,662百万円となりました。これは主として電子記録債権の増加、現金及び預金の減少によるものです。

負債は、626百万円増加の20,686百万円となりました。これは主として長期借入金の増加、短期借入金の減少によるものです。

純資産は、46百万円減少の23,975百万円となりました。これは主として退職給付に係る調整累計額の減少によるものです。また、自己資本比率は53.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期累計期間の業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。

当第1四半期実績を踏まえ、親会社株主に帰属する当期純利益の第2四半期累計期間の業績予想を修正しております。売上高、営業利益および経常利益につきましては当初業績予想からの修正はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,330	2,077
受取手形	100	123
売掛金	4,633	4,061
電子記録債権	4,737	6,283
商品及び製品	5,002	5,389
仕掛品	3,699	3,934
原材料及び貯蔵品	2,363	2,332
その他	606	646
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,471	24,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,637	2,768
機械装置及び運搬具（純額）	5,121	5,205
工具、器具及び備品（純額）	91	92
土地	5,852	5,904
リース資産（純額）	0	9
建設仮勘定	275	350
有形固定資産合計	13,979	14,330
無形固定資産	247	250
投資その他の資産		
投資有価証券	1,883	1,690
繰延税金資産	557	554
退職給付に係る資産	2,789	2,812
その他	178	201
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	5,382	5,232
固定資産合計	19,609	19,814
資産合計	44,081	44,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,593	2,518
短期借入金	6,044	5,398
リース債務	0	1
未払費用	1,023	1,058
未払法人税等	210	40
契約負債	92	87
賞与引当金	673	282
その他	977	753
流動負債合計	11,615	10,142
固定負債		
長期借入金	4,326	6,368
リース債務	-	7
役員退職慰労引当金	5	5
環境対策引当金	13	13
災害損失引当金	76	60
退職給付に係る負債	3,950	4,024
その他	71	64
固定負債合計	8,443	10,544
負債合計	20,059	20,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	5,440	5,429
自己株式	△3	△3
株主資本合計	21,664	21,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	471	507
為替換算調整勘定	207	188
退職給付に係る調整累計額	1,678	1,626
その他の包括利益累計額合計	2,357	2,322
純資産合計	24,022	23,975
負債純資産合計	44,081	44,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	8,324	7,809
売上原価	6,860	6,531
売上総利益	1,464	1,277
販売費及び一般管理費	1,155	1,273
営業利益	308	4
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	38	39
持分法による投資利益	12	11
固定資産賃貸料	10	10
その他	7	5
営業外収益合計	82	81
営業外費用		
支払利息	17	24
出向者負担金	10	4
固定資産廃棄損	0	5
その他	9	10
営業外費用合計	37	44
経常利益	354	40
特別利益		
投資有価証券売却益	34	-
負ののれん発生益	-	※1 353
特別利益合計	34	353
特別損失		
災害による損失	118	-
段階取得に係る差損	-	※1 203
特別損失合計	118	203
税金等調整前四半期純利益	269	191
法人税、住民税及び事業税	6	14
法人税等調整額	89	9
法人税等合計	95	24
四半期純利益	173	166
親会社株主に帰属する四半期純利益	173	166

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	173	166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40	36
為替換算調整勘定	3	△0
退職給付に係る調整額	△37	△52
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△18
その他の包括利益合計	△70	△35
四半期包括利益	102	130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102	130

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

※1 負ののれん発生益、段階取得に係る差損

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

当社は、持分法適用関連会社であるファイベックス㈱について株式を追加取得し2025年4月1日に完全子会社化いたしました。この子会社化に伴い、負ののれん発生益、段階取得による差損を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,566	3,335	406	8,309	15	8,324	—	8,324
セグメント間の内部売上高 又は振替高	128	45	1	175	—	175	△175	—
計	4,695	3,381	408	8,485	15	8,500	△175	8,324
セグメント損益	191	137	△32	296	12	308	—	308

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニア リング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,547	3,075	171	7,793	15	7,809	—	7,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	131	41	0	173	—	173	△173	—
計	4,678	3,116	171	7,967	15	7,982	△173	7,809
セグメント損益	25	73	△107	△8	12	4	—	4

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

特殊鋼線関連事業において、ファイベックス㈱の株式を追加取得し子会社化したことに伴い、負ののれん発生益353百万円を特別利益に計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	238百万円	253百万円